

第12回

- 講演者: 山内 博 氏 (東京女子大学)
 - 題目: モンスター単純群と頂点作用素代数
 - 日時: 平成28年10月21日 (金) 16:30 - 17:30

ジョルダン・ヘルダーの定理よりすべての有限群は有限単純群の塔(拡大の列)として得られることが知られており、有限単純群は有限群における元素といえる。20世紀後半に有限単純群の研究が盛んに行われ、その分類が完成した。そのうち非可換なものは交代群とリー型の群の無限族、そして26個の散在型に分けられる。散在型有限単純群のうち、もっとも位数の大きなものはモンスターと呼ばれ、保型形式や数理論理学など、一見有限群とは関係のないと思われるところに姿を表す。本講演ではモンスターとその住処である頂点作用素代数について非専門家向けに簡単に解説をする。



.lg-outer.lg-pull-caption-up.lg-thumb-open .lg-sub-html {bottom:80px;}

5 images

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/seminar/2016/012>

Last update: **2017/11/16 18:16**

